

平成19年2月 教育研究評議会議事録（案）

・日 時 平成19年2月15日（木）14時00分～15時50分

・場 所 事務局第一会議室

・出席者 古在学長，福島，宮崎，天野，藤澤各理事

西村，明石，柿原，廣井，堀江，石垣，野口，菊池，秋元，金子，守屋，
遠藤，西尾，三上，伊勢崎，上野，北村，山内，嶋津，三宅，安藤，
土屋，宮埜，田村，多賀谷，辻，中谷，正木，小倉，犬伏，島倉，河野，
三橋各評議員（38名）

陪 席：木南監事，長尾副理事

（欠席者：安田，石川，徳久，齋藤）

・前回教育研究評議会議事録について

原案どおり承認された。

・審議事項

1．平成19年度計画（素案）について

学長から，平成19年度計画の素案について審議願いたい旨提案があった後，
天野理事から，同計画の素案について，資料1に基づき説明があった。

なお，同計画については，3月の経営協議会，教育研究評議会及び役員会を
経て，3月末に文部科学省へ提出する旨，併せて説明があった。

2．国立大学法人千葉大学における大学教員の選考に関する規程等の一部改正につ
いて

学長から，本学教員の選考及び任期に関する規程等の一部改正について審議
願いたい旨提案があった後，天野理事から，学校教育法等の改正に伴う同規程
等の一部改正について，資料2に基づき説明があった。

3．千葉大学の組織に関する規則等の一部改正について

学長から，本学の組織に関する規則等の一部改正について審議願いたい旨提
案があった後，前田企画総務部長から，本学地域観光創造センターの設置に伴
う同規則等の一部改正について，資料3に基づき説明があった。

4. 授業情報配信システムの構築について

学長から、学内授業情報の配信システムの構築について審議願いたい旨提案があった後、天野理事から、授業担当教員から履修学生に対する連絡等に関する同システムの構築について、資料4に基づき説明があった。

主な意見は次のとおり

本システムの稼動に際しては、学生は本学が指定したメールアドレスから自分が日常利用しているメールアドレスへの転送手続きを必ず行う必要がある。

授業資料の添付も可能であるが、携帯電話への送信には注意が必要である。本システムのアーカイブはどうか。

本年4月には無理であり、検討課題としている。

本資料を各部局において、教務委員会委員長等と検討願いたい。

. 報告事項

1. 平成18年度研究に関する学内公募プロジェクトの採択結果について

天野理事から、平成18年度の研究に関する学内公募プロジェクトの採択結果について、資料5に基づき報告があった。

なお、本採択結果については、学内ホームページにも掲載する旨、併せて報告があった。

2. 平成19年3月新卒者就職内定状況調査について

宮崎理事から、平成19年3月の新卒者の就職内定状況について、資料6に基づき報告があった。

主な意見は次のとおり

本資料の就職希望者数（内定率の母数）が、本当に希望者の数を反映しているか、検討中である。

法経学部の調査では、経済学科の内定率は66.7%、総合政策学科は87%である。

法学科にはゼミ制がなく、また、教員と学生の関係が希薄なため、正確な把握は困難である。

動向が不明な者を内定率算出の母数に入れるべきか、検討が必要である。

3. 平成19年度千葉大学個別学力検査等志願者受付状況について

山本副理事から、平成19年度個別学力検査等志願者受付状況について、資料7に基づき報告があった。

主な意見は次のとおり

志願倍率が3倍を切ると、学生の質が低下すると言われている。

志願者の確保に向けた方策を検討する機会を設けたいので、部局長等にお

集まりいただきたい。

志願者減により，約 800 万円の減収となった。

4．国立大学法人千葉大学における喫煙対策に関する指針の一部改正について

藤澤理事から，本学の喫煙対策に関する指針の一部改正について，資料 8 に基づき報告があった。

5．千葉大学災害調査団の発足について

藤澤理事から，本学災害調査団の発足について，資料 9 に基づき報告があった。

主な意見は次のとおり

本調査団は，千葉県内及びその周辺地域において発生した災害を対象として活動する方針である。

災害時に大学として社会に貢献したい。

6．部局教員の担当授業時間等調査について

北村普遍教育センター長から，各部局教員の普遍教育担当時間等の調査について報告及び協力依頼があった。

主な意見は次のとおり

現在，教育運営検討委員会専門部会において，普遍教育に係るルール作りを検討している。その一環として授業担当時間の調査を行うことになったので，協力をお願いしたい。

7．千葉大学房総研究会出版活動企画（案）について

天野理事から，本学房総研究会の出版活動企画（案）及び編集方針等について，資料 10 に基づき報告があった。

主な意見は次のとおり

本出版活動は，本学全体の企画として進めていきたい。また，千葉日報社の協力を得る予定である。

教員個人ベースで進めるか，部局ごとに進めるか，検討したい。

地域観光創造センターを，本活動のシンクタンクとして進めることも考えられないか。

本企画のプロモーターについては，4 月を目途に決めていきたい。

8．研究経費比率に関する他大学との比較分析について

福島理事から，内閣府（第 60 回総合科学技術会議）によって公表された研究経費比率に関する本学の分析結果について，資料 11 に基づき報告があった。

主な意見は次のとおり

公表結果では、本学研究経費比率が主な他大学と比較して低いと思われる内容であったが、当該内容について改めて本学で分析した。

諸条件を整理し分析した結果、本学の研究経費比率は平均的なレベルであると考えられる。

9．これからの大学における広報活動・戦略について

宮崎理事から、「これからの大学における広報活動・戦略について」の説明会の開催について、資料12に基づき報告があった。

10．平成18年度弁理士試験の結果について

天野理事から、今年度の弁理士試験の結果に関して、本学学生が10名合格した旨、資料14に基づき報告があった。

11．文部科学教育通信「学長インタビュー」について

学長から、「文部科学教育通信」に掲載される「学長インタビュー」について、資料15に基づき報告があった。

12．各種シンポジウム等の開催について

学長から、以下のシンポジウム等の開催について、資料に基づき報告があった。

- ・ International symposium on Dialogue between Social and Natural Sciences
- ・ 国立大学協会第4回大学改革シンポジウム
- ・ 環境と健康におけるサステナビリティ学日台ワークショップ
- ・ 千葉大学地域サステナビリティシンポジウムについて
- ・ スプリングサイエンスキャンプ2007

13．その他

(1) コンビニの設置について

学長から、学内のコンビニ設置については、アンケートの結果反対意見もあるので、保留とする旨の報告があった。

(2) 名刺作成について

広報等のための名刺作成費用については、大学経費からの支出が可能か検討し、次回の教育研究評議会で報告することとなった。

(3) 大学院修了式について

学長から、本年度より大学院修了式と論文博士への学位記授与式を合同で実施する旨の報告があった。

以 上